

第1回仙台市中央卸売市場再整備検討委員会

議事録

1. 日 時：令和5年6月23日（金） 9時00分～10時30分
2. 場 所：仙台市役所本庁舎2階 第1委員会室
3. 出席者：西川委員長、岩沼副委員長、板委員、本田委員、吉田委員、佐藤(龍)委員、
庄司委員、佐々木委員、佐藤(と)委員、若狭委員
(事務局) 郡市長、柳津経済局長、西崎市場長、山田管理課長、渡辺業務課長

4. 内容

(1) 開会

司会： 本日、司会を務めます佐藤でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(2) 委嘱状の交付

事務局： では初めに委嘱状の交付を行います。手元の名簿順にお名前を申し上げますので、郡市長からお1人ずつ委嘱状をお渡しいたします。
(各委員に委嘱状を交付)

事務局： ありがとうございました。それでは開会に当たりまして、郡市長よりご挨拶を申し上げます。郡市長よろしくお願いいたします。

(3) 開設者挨拶

郡市長： 皆様おはようございます。本日は大変お忙しい中をご出席賜りまして、第一回仙台市中央卸売市場再整備検討委員会が始まりますこと、深く感謝を申し上げたく存じます。ただいま皆様方に委嘱状を交付いたしました。快く委員をお引き受けいただきましたこと、まずもって感謝申し上げます。それから常日頃から、仙台市中央卸売市場のみならず市政全般に関わりまして、深いご理解とご協力を賜っていることについても、御礼を申し上げたく存じます。今後、中央卸売市場の再整備計画をまとめるまでの間、皆様方にはご専門の立場で、大所高所から様々ご意見をいただければというふうに考えているところでございます。さて、3年間続きましたコロナによる影響もございましたが、それに加えて、昨今は、エネルギーの高騰、そしてまた温暖化に伴います水産物の不漁、また農作物の不作など、食の根幹を揺るがしかねないような状況に陥つ

ておりまして、皆様方の食を担う卸売市場にとっては大変厳しい状況が続いているというふうに思います。関係の皆様方には、そのような中においても、この間、市民の皆様方の日々の暮らしを守るためにご尽力をいただいていることにつきましても、深く御礼と敬意を表するものでございます。現在の中央卸売市場は、これまでも幾多の災害がございましたけれど、今年の11月をもって、建築後丸50年ということになります。老朽化が進んでおりますことのほか、昨今は衛生管理の高度化が各地域で進んでおります。また、今日の食品流通および物流環境の変化などにも対応すべく、今回、現地での再整備事業を実施する運びとなりました。当検討委員会では、市場再整備の礎となる基本構想を策定していただくために、本市場が目指すべき将来像や将来展望など、ご審議をいただきます、大変重要な場でございます。本市も開設者といたしまして、この検討委員会での皆様のご議論やご提言をもとに、生産者や出荷者、消費者はもとより市場内の事業者の皆様方から一層信頼をされ、市民の皆様へ安全で安心な食材を提供できる市場を目指して、再整備事業を進めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

事務局： ありがとうございます。なお郡市長でございますが、この後、次の公務が控えておりますので、ここで退席をさせていただきます。

事務局： 続きまして、委員の皆様をご紹介させていただきます。

(委員紹介)

事務局： 続きまして、仙台市側の出席者をご紹介させていただきます。

(仙台市側紹介)

事務局： なお、当委員会には、仙台市と基本構想策定支援業務委託を締結しております三菱UFJ・安井建築設計事務所共同企業体も同席しております。どうぞよろしくお願いいたします。

(4) 委員長・副委員長選出

事務局： では続きまして、委員長、副委員長の選出に移ります。当委員会の設置要綱第4条では、委員長及び副委員長は互選によって定めるとされてございます。この点につきまして、どなたか委員長のご推薦はございますでしょうか。よろしくお願いいたします。

岩沼委員： 市場業務に精通され、なおかつ市場取引委員会の委員もされている西川委員にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

事務局： ありがとうございます。委員の皆様にお諮りいたします。ただいま、委員長に西川委員とのご意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員一同： (異議なし)

事務局： ありがとうございます。それでは、委員長には西川正純委員が選出をされました。恐れ入りますが、西川委員長は、正面の委員長席にご移動の方、お願いいたします。続きまして、副委員長の選出についてでございます。副委員長につきましても、互選により選出することとなっております。皆様の方からご推薦がありましたらと思いますが、いかがでしょうか。

佐藤(龍)委員： 委員長に一任させてはいかがでしょうか。

事務局： はい、ありがとうございます。委員長に一任というご意見でございましたが皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員一同： (異議なし)

事務局： ありがとうございます。では委員長、よろしくをお願いします。

西川委員長： はい。それではご一任いただきましたので、私の方からは、長年、仙台市中央卸売市場の運営に携わっていただいております岩沼委員の方をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。お引き受けいただけますでしょうか。

岩沼副委員長： (承諾)

西川委員長： ではよろしくをお願いします。

事務局： はい。ありがとうございます。副委員長に岩沼委員が選出されました。よろしくをお願いいたします。ではここで西川委員長からご挨拶を頂戴できればと存じますが、よろしくをお願いいたします。

西川委員長： 皆様、おはようございます。今回委員長の役をお引き受けすることになりました宮城大学 西川でございます。よろしくをお願いいたします。この会議ですけれども、委員の皆様のご協力をいただきながら、委員会の運営に当たっていきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。さ

て中央卸売市場ですが、さきほど市長からもございましたが、50年経過をしておりますので、老朽化が進んでおります。また2018年6月には、卸売市場法の改正がございました。取引のルールもかなり変わってきておりますし、大幅に規制緩和も進んでおります。それから、食品衛生法の改正が行われておりまして、世界的な食品衛生管理の標準化に向けて日本も取り組んでいるところでございます。ですので、高度な品質管理という視点でも、今回の市場の建て替えについても決めていかないといけないこととなっております。こういった状況を踏まえて、仙台市では中央卸売市場のあり方を検討するとともに、市場再整備の方向性について、検討を重ねてきたところですので、仙台市中央卸売市場の再整備に関して、現地で建て替えを実施するという方向性が決まったことから、基本構想を策定することとなりました。この市場を取り巻くかなり厳しい環境変化に合わせて、様々な課題の解決に向けて進めていきたいと思っておりますので、ご協力いただきますよう、また積極的にご意見いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますけれども、ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(5) 委員会の進め方の説明

事務局： ありがとうございます。それでは議事に入ります前に、委員会の進め方について、ご確認いただきたいことがございます。まず、会議の公開についてでございます。本市の「附属機関等の設置及び運営の基準に関する要綱」第4条第1項、第2号によりまして、公開、非公開は当該附属機関等において決定することとされてございます。本市におきましては、このような会議に対しましては、原則公開としておりまして、例えば、個人情報扱う場合などは、必要に応じ非公開とすることとしております。毎回、議事に入ります前に、会議の公開について、ご確認いただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。次に、議事録の作成についてでございます。附属機関等の設置及び運営の基準に関する要綱第4条第1項、第3号によりまして、議事録を作成する必要がございますが、この方法につきまして、事務局にて作成した議事録の前に、毎回、委員長ともうひとかた、あわせて二名の委員にご署名をい

ただきまして、議事録の確定とすることでよろしいかご確認をお願いいたします。なお、当委員会の会議ですが、設置要綱第5条第2項の規定によりまして、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができないとされております。本日は10名の委員、皆様にご出席いただいておりますので、会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。ではここからは、進行の方、西川委員長をお願いしたいと思います。西川委員長よろしくをお願いいたします。

西川委員長： はいそれでは、会議を進めて参りたいと思います。皆様のご協力よろしくをお願いいたします。まずは、先ほど事務局から説明がありましたけれども、委員会の公開についてです。本日の会議では、特に個人情報を取り扱うことはございませんので、公開ということで、ご承知いただけますでしょうか。

委員一同： はい。

西川委員長： ではそのようにさせていただきます。次に、議事録の作成についてですが、議事録署名人を選出したいと思います。私の方からご指名したいと存じますが、本田誠委員の方をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

本田委員： お願いします。

(6) 議事

① 仙台市中央卸売市場再整備基本構想の構成案について

西川委員長： それではお手元の次第に従って、議事に入っていきたいと思います。初めに、仙台市中央卸売市場再整備基本計画の構想案について説明をお願いいたします

事務局（山田 管理課長）： （資料1の説明）

管理課長）：

西川委員長： ただいま、ご説明をいただきましたけれども、皆さんのほうからご意見あるいはご質問等ございますでしょうか。まずは骨子ということで、構成案についてのご説明でございました。いかがでしょうか。本日、第1章というところで、いろいろご意見いただくことになると思いますけども、全体通して1章から4章のところ、どうでしょうか。よろしいでしょうか。

委員一同： （意見無し）

西川委員長： はい。ありがとうございます。

②仙台市中央卸売市場再整備基本構想案の第1章について

西川委員長： それでは、次第に沿って「仙台市中央卸売市場再整備基本構想案の第1章」について説明をお願いいたします。

事務局（山田（資料2の説明）

管理課長）：

西川委員長： ありがとうございます。非常に興味深い資料だと思います。今ご説明いただきました資料について皆さんの方から、ご質問、ご意見があればお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

板委員： ありがとうございます。私の方からは技術的な手法の整備のところについてはいろいろな方のご意見を伺っていただきたいというところで、全体の資料の周辺の話も聞いていただきたいと思います。今、こちらで水産物や青果の取扱量が減っているというような減り方もそれぞれですが、事例がございました。水産に関しましては全国的な消費動向を見ましても肉食の方に寄って、鮮魚の方の消費が減っているということもあるので、この現象がみられるというのは致し方のないのかという感触を持っているのですが、青果の方は消費者が消費量を減らしているというデータを取っているものの目立つものでないのに対して、ここでは青果の取扱量が減っているように見えるというのが気になる点です。それが他市場との比較というところで見てくださいなのですが、恐らく他市場というよりは生産者さんによる直接の直売など、そのようなところに消費が流れているのではないかと、思うように思います。なので、他市場との比較はもちろん重要なのですが、消費者がどこから買っているのかというところをみて、では市場にどのような対策が必要となるのでしょうか。生産者さんの直売所ということもありますし、最近では、恐らくネット通販みたいなものもありますので、そういったものの流れというのは恐らく今後加速する可能性もありますので、そこを見据えて、市場との関係性をどうしていくのか検討する必要があると思います。その辺のデータも今後入れていただくと今後の検討材料となると思いますので、分かることがあれば教えていただきたいということと、これから調べるということであれば今後のために反映いただきたいと思います。

- 西川委員長： ありがとうございます。いかがでしょうか。
- 事務局（山田管理課長）： はい、ありがとうございます。確かに市場経由率というものがあるのですが、それは大幅に落ちております。それは統計上も出ております。ただ当然、消費は安定しているわけですので、市場を通らないで一般の消費者に流通するものは増えているということもありますので、そういったことも含めて検討していきたいと思います。
- 西川委員長： はい。ありがとうございます。市場の安定供給そのあたりうまく形で検討いただきたい。その他、皆様の方からご意見いかがでしょうか。忌憚のないご意見いただければ、あまり遠慮せず意見を言っていただく方がいいので。どうでしょうか。
- 岩沼副委員長： 岩沼です。市場を通った食べ物、野菜にしても魚にしても安心安全なものだということが言えるような、市場外流通じゃなくて、市場を通ったものは安心安全だというようなことをきちっと言えるような設備にしていきたいです。仙台市場の食品監視センターも人を増やして毎日検査をしていただいているので、市場流通のこともとても大事であると思います。市場外流通はどこでもいろいろありますし、我々水産は昨年に京都市場を見学に行ってきました、やはりグレーなところも色々聞いてきたところもあるので、皆さんと協力しながらより良い市場を作っていきたいという思いです。ありがとうございます。
- 西川委員長： ご意見ありがとうございます。当然、HACCP等の衛生管理の制度化、義務化が進んでいますので、石巻市場は当然、最新の形で完成されていますので仙台市場は老朽化してそのような水準にはなかなか届いておりません。今回刷新して、世界標準に合わせる形にしないと国内技術だけでなく、輸出にも対応するためにも大事なことです。衛生管理の水準も検討する必要があると思います。他に何かご意見等ございますでしょうか。
- 佐々木委員： はい。石巻魚市場の佐々木です。今、委員長からお話がありましたが、石巻市場は平成23年3月11日の東日本大震災で全壊しました。ですので、国の方でも早く復旧しなくてはならないということで、192億円の国費を、一刻も早く市場を復旧させるということでお金をいただきました。それにより、27年の全面再整備という形になりました。一方で、その当時は我々の卸売業者としては、早く市場を復旧してほしいと

という願いだけがあり、多方面からいろいろ意見が出ましたが、とにかく早く再整備をやってもらえれば良いということだけで、専門的なことは一切後に置き、復旧させるという思いでやるしかなかった状況でした。しかし、いざふたを開けて、運営にあたりますとやはり特別会計で石巻市が運営しているものですから、現在、石巻市場は5/1000の使用料を石巻市の方に支払っていますが、これでは200億の売り上げで5/1000となると1億の使用料をお支払いしている。それでも全体的に年間1億円くらいの赤字が出るというような実態なのです。ということは、インシヤルコストは国の方からすべていただいたので良かったのですが、ランニングコストは思ったよりもかかるとことが出てきています。再整備に当たっては使用料のことについて重々、深く突っ込んだうえでの議論をしたうえで、作られるのが一番よろしいのかなと思います。

西川委員長： ありがとうございます。先ほど説明にもございましたけれども、市場規模に見合ったコンパクトなづくりが非常に大事だと思います。ですので、この資料の中で水産物の売上の推移ございましたけれども、そのあたりも今後の予測をしながら、それに見合った形での整備になるのではないかと思うのですが、そのあたりいかがでしょうか。

事務局（山田管理課長）： はい、ありがとうございます。確かに取扱数量は減ってきております。一番大事なことは、岩沼委員がおっしゃったような安全、安心、安定供給というのが、我々公設市場としての大事な役割とっております。場内の再整備によって、安全な流通を確保することは重要でございます。後は、皆様の負担がなるべく抑えられるようなダウンサイジング等も考えたいと思っております。

西川委員長： ありがとうございます。その他、皆さんからどうでしょうか。

若狭委員： 若狭と言います。私の方からは先ほど説明していただいた資料2の15ページのコンパクト化と近代化を両立する卸売市場についてアンケート調査をいろいろやっていらっしゃったとお聞きしました。どのくらいの人数を対象にアンケート調査をしたのかお聞きしたいと思っています。それから、私のような消費者は今日のこのような会議に出席し、いろんな将来像をお聞きしまして、今後も安心して参加して色々な将来像についての意見を述べたいと思う。私たちには、この卸売市場というのがどこにあるのかわからない方たちがたくさんおります。その人たちのため

にも宣伝効果という点でも、広報の仕方にも力を入れてほしいですし、卸売市場に行きたいという方がたくさんいらっしゃいます。少々遠いのでどういところかわからないということがありますし、できましたら、バスや地下鉄で近くまで行けますよということなのですが、やはりそこからは、まだまだ遠く感じられます。高齢者もたくさんおりますので、その辺を将来的に少々考えていただきたいということですね。そしてあともう一つは、仙台というのは、とても新鮮な食材や魚が食べられるということ、県内外の人たちは期待しています。しかし、なかなかそのような新鮮な魚などはあまり買えないという実情があります。そのような点でスーパーに行っても、やはり限られたものしかありません。それ故、できましたら卸売市場の方にいつでも足を運んで、買えたら良いということをお願いしております。以上です。

西川委員長： はい。ありがとうございます。

事務局（山田管理課長）： はい。ありがとうございます。まず1点目のアンケート調査ですが、こちらも令和4年度に一般市民の方ではなくて、場内事業者の方々に対して行ったものです。場内事業者約100社程度になります。次に広報、後は市民開放についてですが、卸売市場というものは事業者向けの施設でありますので、一般の方が来にくく、開放自体はしていないのですが、一部、食堂街など、そのようなところは利用できます。平日も、多くの方々がお昼等でいらっしゃいますが、道の駅等であるような、皆さんがここにきて、自由を買って帰るといような場所ではないものですから、今後、意見がございました市民開放も検討していく必要があると思っております。市場まつりがこれまで、5年に1度程度あったのですが、コロナ等の影響もあり、最近は実施していません。市場のアクセスに関して、どうしても広大な敷地が必要ですので、卸町地区にあります地下鉄の卸町駅や六丁の目駅から徒歩20分程度かかること、バスの本数も少ないことから、現実では難しいところがあるという感覚でおります。以上です。

西川委員長： はい。ありがとうございます。若狭委員の意見、非常に貴重だと思いますね。私も毎年豊洲市場に調査に行くのですが、見学数はコロナ禍で少々止まっています、インバウンドで海外の方も一部戻っていらっしゃいます。仙台も観光都市として、そこに焦点当てて一つのPR、賑わ

いのあるところにしていくということも一つはあると思います。もし可能であれば、設計の段階で加えていただければ良いと思います。いかがでしょうか。

吉田委員： はい。確かに老朽化が進んでおりまして、その中で各都市の方で再整備が終わっております。私としましては、どこよりも立派な建物ができれば良いとは思いますが、先ほど佐々木委員の方からありました通り、それがランニングコストに跳ね返ってくるのは違うのだろうと思っております。そこでどうするのかということですが、例えば、卸同士で共有スペースというものをどこまで設けられるのかというのが一つのポイントになると思います。例えば、食堂、会議室が挙げられます。豊洲市場を見ますと、長靴の乾燥スペースもあります。共有スペースを増やすことと、熱効率をいかに高められるか。事務所を平面で皆さんに分けるような立体型にして、中央棟とは別の縦型の建物を導入し、全ての場内卸、仲卸の業者がここに入れば熱効率は非常に良くなると思う。スペースも増えると思いますので、スペースを有効利用した方がいいのではないかと。少々漠然とした意見ですけれども、そのようなことを考えております。

西川委員長： ありがとうございます。この会議ですが、この後2回、3回とありますので、この段階で設計に係る意見を出していきたい。引き続き委員の皆さんにはいろいろ考えていただいて、次回の段階で自分の考えを披露頂ければと思います。その他、今日の資料の中でご質問等があれば、お聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。私の方から1点だけ、水産物と青果の売上と取引等の価格についてです。コロナ禍によってこの3年、4年等、減少しているのは事実ですが、今後の見通しということで、どの段階まで戻るのかなどの売上の予測はされていますでしょうか。

事務局（山田管理課長）： 予測は特にしておりません。卸売業者の方で何か経営戦略的なものがあれば、お伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

本田委員： コロナに関して、外食の方が大変打撃を受けまして、水産物、青果もどちらも共通しております。コロナの影響も小さくなり、売上は戻ってきております。仙台市場自体が東北の拠点市場として、特に量販店の取り扱いが非常に多い市場であります。特に水産物の方が、先ほどの図にありました通り、広域の販売ということで指摘がありました。全国的にみ

ると減少はしておりますが、金額的には減少率は小さい。これは豊洲市場などと比較しても、そのような傾向がございます。取扱数量が激減しているということについては、温暖化の影響が非常に影響しており、不漁という部分が大部分を占めている。それによって、単価の方がアップしております。そちらの影響が大きいと思っております。もう一つは、先ほど出てきましたイーコマースといった電子商取引への対応も、この市場ではなく別のところで商流として提供的な取り扱いもしていますし、今後このようなものが市場の設備の中でできるということになるとまだまだ市場の存在意義はあると我々は思っております。委員長が先ほどおっしゃっていた輸出ということについても、東南アジア中心に始めたばかりでございまして、これも市場設備を使ってやっていないところでしたので、そのようなものも取り込んでいけば、十分金額を伸ばせると思っております。

西川委員長： ありがとうございます。

佐藤(龍)委員： はい。青果の方は、野菜とか果物がありますが、みかんなどは30年前に約360万トンで、今は約70万トンになります。5分の1に減っております。野菜の方も、野菜は仙台東北というのは冬場にとれないものですので、九州、四国から持ってくるリレー方式の形をとっているのですが、年々遠くになると減ってきているのは事実です。しかし、来年の24年問題で、もう運ばせんという状態になっており、東京までとか大阪までとなってしまう。今後運ぶ形態を考えなくてはならないですし、今後仙台市場を新しく建てるにあたって、石巻市場などはコールドチェーン対応となっておりますので、野菜であると産地で予冷したものを、一旦仙台におろすときは、常温になる。夏場など35度と30度以上のところに早くコールドチェーン通してほしいということで減らされている部分もございます。全般的に低温で運んできたものを低温で保管をして、お店まで低温で届ける形をいち早く組み立てないと、設備が整ったところに荷物が移動していくっていう部分もございます。それから、今度は仙台までは荷物が来ますが、仙台より北の秋田、盛岡に対して、今度はハブ機能として整備しないとならないかと思っております。そのような部分で将来的には運送部分もありますが、消費と並行して量的な部分は増えていくのではないかなと思っております。そのような現状が東北の

市場にはあるのですが、連携を図りながら、その組み立てを行っているところですが、そのためにも、ハブ機能を持った市場形態を作らないとなりません。それから、一番は今後のコストの問題で、負担が大きくなるような組み立てをする部分は少々厳しいです。市場内において事故が発生していますので、一般消費者の方々に来ていただく部分を考えるのであれば、市場内の業務体系と市場外売り場など様々な部分を組み立てていかないと、日常の業務に支障をきたします。加えて、一般消費者にも不便を感じさせるようなことが考えられます。そのような点では他の市場は先に進んでいますので、より良い部分は学んで、仙台卸売市場として組み立てられれば良いと考えております。よろしくお願ひしたい。

西川委員長： 貴重なご意見ありがとうございます。この資料につきましては、皆様のご意見をいただいたことを加味しながら、また進めていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

③今後の検討スケジュールについて

西川委員長： では続きまして、(3)になりますが、今後のスケジュールについて、説明をお願いいたします。

事務局（山田 (資料3の説明)

管理課長)：

西川委員長： ありがとうございます。スケジュールにつきましてご説明がございましたが、皆様の方から何か質問等ありませんでしょうか。2年間ということで非常に長く見えますが、実は非常にタイトなスケジュールだと思ひます。ですので、次回会議が8月の終わりになっておりますが、それまでに、皆様の方で今日の資料等を確認しながらご意見等、ぜひまとめておいていただければと思ひます。よろしくお願ひします。質問はないでしょうか。

板委員： はい。私、詳しいわけではございませんが、自動運転などの車自体がこれから普及される動向があります。市場の中でそのようなものが入ってきた時に、先ほど事故もあるとおっしゃっていましたが、整備する段階でどの程度導入できるか等、もしくはパレットなどの運搬を自動運転化のようなものができるのであれば、それを誘導できるようなスペースが必要だと思ひます。ですので、もしそのようなものが実際に登場した時

に、導入タイミングを考えないと、また後10年これから使うとなったときに、もう手遅れであるということにならないように、意識してご検討していただければと思います。

西川委員長： いかがでしょうか。

事務局（山田管理課長）： はい。ありがとうございます。最先端の技術ということで様々な業者が使っております。現在の市場となると、通路が双方向であり、場内の走行スピードは規制しているのですが、なかなか守られていない。今後、実証実験といたしましては、場内一方通行を試験的に行いたいと思っております。将来的には自動運転による運搬ということも調査したいと思います。ありがとうございます。

西川委員長： ありがとうございます。それでは、スケジュール等についてご意見よろしいでしょうか。では本日の議事については3件、お示した形になりますが、皆様の方から何かその他という形でご意見があればお伺いしたいのですが、いかがでしょうか。

事務局（柳津経済局長）： 少々最後に総括的なことを申し上げてよろしいでしょうか。

今日は本当に様々なご意見いただきましてありがとうございました。私は、実は今年度から関わっており、勉強中ですので、今までの話を聞くと、今後に向けた示唆を頂き、大変参考になったところです。一番最初の消費量の減っているという話を取り上げた青果については、東京や大阪、ECサイトが発達しているところで伸びたりしているようです。それは一体どういうことなのか、もう少々突っ込んで考えていくと、これから作る市場はどうあるべきかというところがわかってくるのかと思いましたが。それに加えて、市場設備を更新していくこともあり、もちろん良い市場を作りたいと思いますが、その中でイニシャルコストも限りがある。本日重要なご指摘としてランニングコストの話がありました。無理のない形で未来志向の話を作っていかなければならないということが大変わかりました。やはり選ばれる市場にするということは本日のお話で重要な点だったと思います。それはハブ機能を設けていくということでまさにリレー式にということですが、そういったところを我々としては担っていく必要がある。もう一方で市民の皆様、それから観光客も含めて皆様方にも開かれ、おそらく時期的に開かれてということではなく気軽に体験ができたり、味わえたりということも重要な視点であると

いうことを実感しました。そういった観点も取り込める市場を考えたい。このような会議も大切なのですが、他の都市の市場、或いはもしかすると輸出を考えると、世界の市場がどうなっているのかということも気にしないといけないとっております。そのような中で、成功事例に学ぶということなのですが、我々は昨日も議論したのですが、失敗事例に学ぶということも大切だと思っております。石巻の話も失敗ではないのですが、課題も我々は集めたいと思っております。私たちだけでは十分集めきれないところがありますので、委員の皆様が常日頃聞こえてくるようなことも教えていただけたら大変ありがたいと思っております。そのようなことを積み重ねながら、この会議を運営していきたい。そして、これから先 50 年、もしかすると 100 年使うことになるかもしれない市場を作っていきたい。どうぞよろしくお願ひします。

西川委員長： どうもありがとうございます。それでは、ご意見が無いようですので、これで終わりなのですが、最後にできれば最初の検討会ということもございます。今日の感想でも構いませんので、まだ少々ご発言いただけない方もいらっしゃると思いますので、とりあえず一言、庄司委員の方からご発言頂けますでしょうか。ご意見、感想でも構いません。

庄司委員： いろいろお話を伺っていて、やはり大事なのは東北というエリアのところで、取扱量など懸念するところはございますが、ハブ機能になることや市民に開かれた場になることは今後大事になっていくと思います。非常に閉鎖的な部分にはなっているのですが、そこを今後見据えた時にやはり市民の人たちがこういうことやっているところなのだ、こういうところに興味があるのだと、市民の方たちが思える場所であってほしいなと思います。観光という観点も含めて、仙台市場が一つの場所になるということも将来に向けては必要になると思ひました。

西川委員長： ありがとうございます。岩沼委員、もう一言お願ひいたします。

岩沼副委員長： 言うのと止まらなくなりますので、皆さんの意見を聞いて、私がいろんなところで見してきたのはこうですよ、ああですよとかいろいろございますので、今日私はこれくらいにしておきます。

西川委員長 わかりました。ありがとうございます。佐々木委員、先ほど石巻の市場のこともいろいろ教えていただいたのですが。

佐々木委員： そうですが、我々石巻にとってはやはり優秀なスタッフが揃っているな

という印象を持ちました。ですので、新しい市場を作るにあたっては安心してお任せできるのかなという感想は持ちました。以上です。

西川委員長： 先ほどおっしゃったように石巻の課題などは是非教えていただきたく思います。お願いいたします。ありがとうございます。

佐々木委員： はい。

西川委員長 佐藤委員。一言お願いします。

佐藤(と)委員： 消費者にいかにか新鮮なものを届けるかというところに行きつくとは思いますが、私も生産者として新鮮なものをとにかく新鮮な状態で市場の方まで届けられれば良いと思っております。その後は、もう市場関係者の方にお任せするしかありません。野菜は特に朝早くに収穫しないと鮮度が落ちたりするものなので、生産して市場に出荷するというのが私の仕事ですので、その後はもう市場関係者にお任せするしかありません。市場のコマースシャルに関しては、一番効果的なのは子供たちの市場見学です。まず食育の関係上、子供たちにどのようにして野菜とかお魚とか届けられているのかという姿を見せて欲しいというのが、私が今回参加できたことには意味があったと思います。よろしくお願いします。

西川委員長： ありがとうございます。

事務局(山田管理課長)： 委員長、コロナ禍で3年ほど実施しておりませんでした。今年度からまた夏休みの親子市場見学会というものを開催いたします。ぜひ、よろしくお願いします。

西川委員長： 若狭委員、一言お願いします。

若狭委員： 若狭久美子と申します。よろしくお願ひいたします。先ほど、三、四、点、述べましたので、ここであえて言うことはあまりないのですが、今後卸売市場がさらなる発展していく、安心な市場になる上で、それに安く皆さんが買えるような水産センターといったものを考えていただければと思っております。以上です。

西川委員長： はい。ありがとうございます。佐藤龍悦委員、お願いします。

佐藤(龍)委員： 佐藤でございます。安全安心で安定供給というのが市場の責務と思っております。やはり消費者の方には、新鮮で安全で安心なものをいち早くお届けするというのが、使命だと思っておりますし、それから建物は箱物ですので、箱物をつくった場合は、効率よく、費用があまりかからないような仕組みづくりをすることを、皆さん期待しておりますので、今後とも

よろしく申し上げます。

西川委員長： ありがとうございます。吉田委員。

吉田委員： 吉田でございます。市場を運営していく上で、取扱数量が減ってきているということに非常に危機感があります。そこで、特に水産物ですが、水揚げ数量が右肩下がりになっております。輸入物はすべて高値です。世界で一番安いのは何かというと、前浜のいわし、サバとなるととんでもない話であると感じている。そこで、取扱数量をいかに維持するか増やしていくかということがこれから我々卸売市場水産の大きな課題だと考えております。以上です。

西川委員長： はい。ありがとうございます。本田委員

本田委員： 本田でございます。皆様からご意見が出しつくした感じで、私も何を言っているのかというところでございます。日々、業務をするに当たりまして、得意先様や消費者の皆さんが、日々模索していらっしゃるということは本当に実感してございます。この市場はですね、お客様のお役にどうやってたっていくのかということと、どうやって喜んでもらえるかということをして今後、皆さんで議論をしていただき、我々も協力して、一生懸命良い市場を作っていきたいという思いでございます。ご指導よろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。

西川委員長： はい。ありがとうございます。板委員。

板委員： 私の方は少々現場が分からずに消費者というような目線で、お話させていただいたのですが、この時代はスマート化といいますか、そのようなネット経由のものが、加速しております。そのようなタイミングで再整備になったというところで、そのようなものを取り込む良いタイミングという気がします。うまくそのような新しい技術を取り入れて、今後、次の50年間、スマート化にも対応できて、皆さんも省力化できるような、そのような市場となるように、少しでも貢献できたらと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

西川委員長： 皆さん、ありがとうございました。少々私の方はもう意見ないのですが、一応、食の安全・安心ということもやっております。食品衛生の観点からもアドバイスできるかと思ひますので、そのあたりも参考にして頂ければと思ひます。それでは、皆様からご意見いただきましたので、これにて終了したいと思ひますが、事務局の方から何か連絡事項等

ありますでしょうか。

事務局（山田 管理課長）： いろいろありがとうございました。次回の検討委員会ですが、先ほどスケジュールでもご説明いたしました通り、8月下旬から9月にかけて開催を予定しております。早急に日程の方は調整させていただきますので、よろしく申し上げます。なお、今回は中央卸売市場で行いたいと思いますので、なかなか見学されたことのない方につきましては場内の案内等もさせていただければと思います。また議事録の作成が終わり次第ですね、議事録署名の方、西川委員長と本田委員の方をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

(7) 閉会

西川委員長： それではこれを持ちまして、本日の仙台市中央卸売市場再整備検討委員会の一切を終了いたします。委員の皆様、会の進行にご協力いただき、本当にありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

事務局： ありがとうございます。では以上をもちまして、第1回委員会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

令和 5 年 7 月 20 日

仙台市中央卸売市場再整備検討委員会委員長

西川 正純

仙台市中央卸売市場再整備検討委員会委員

本田 誠